

### 研究発表① 核医学部門 座長集約

前橋赤十字病院 星野 洋満

#### 演題. 5

「当院の負荷心筋血流シンチにおける投与量減少に対応した収集条件の検討」伊勢赤十字病院 森嶋毅行氏の発表は、201 塩化タリウムが検定日の 2 日前から当日検定に変更になり、これに伴い同一製剤が約 40%減少する事から画像の劣化を評価し、現状の診断能を維持するための収集条件を検討するものであった。カウント不足による統計誤差を軽減するために BMI から 1view 当たりのカウントを導き出すという新しい着眼点であった。今回の発表は同一条件での収集カウント評価であったが今後は、コリメーター特性やエネルギーウィンドウ設定の評価を行うことにより、さらに向上した研究発表に繋がるものと期待する。

#### 演題. 6

「当院イントラネット内に構築した『放射線検査の手引き』について~核医学検査~」高松赤十字病院 篠岡光氏の発表は、診療に携わるスタッフが核医学検査の前処置や撮影内容をイントラネット内から常に最新情報を共有できる環境を構築した発表であった。情報の共有化により研修医や核医学検査に携わらない放射線技師にとってもマニュアルとして使えるように工夫されていた。また必要な情報に最小限のマウス操作でアクセスできる工夫もされておりスタッフが使いやすいシステムを構築していた。患者から検査内容の説明を求められる際も対応の一元化が行えることから、患者サービス向上にも繋がる発表であった。